



# 学校だより

No. 2 さいたま市立神田小学校  
令和8年4月28日発行 Tel (853) 4377  
URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
たくましく生きる神田の子  
・かしこく・たくましく・あたたかく

## 地域と共にある学校

校長 中村 誠



1年生が下校する様子

4月8日の始業式・入学式から、約1か月が経ちました。子どもたちはクラスの雰囲気になれ、それぞれのペースで学校生活を送ることができるようになってきたように感じます。新しい環境の中で、一人一人が本当によく頑張ってきました。

中でも、登校班の班長さんの活躍には、日々心を動かされています。1年生には少し重たいかなと思う荷物を代わりに持ってあげる班長さん。不安そうな表情をしている1年生

を昇降口まで付き添ってくれる班長さん。歩く速さを常に気にかけ、車や自転車が通る場面では立ち止まり左右を確認する班長さん。それぞれが自分なりの課題を見つけ、考えて行動している姿が随所に見られます。一昨年から子どもたちの登校の様子を見守ってきた私にとって、責任ある行動を取る姿は、成長の証そのものであり、思わず涙がにじむほどの感動を覚えます。しかし、このような姿は、私たち教職員の指導だけで育まれたものではありません。

先日、不安を抱える1年生と手をつなぎ、同じ登校班の別の保護者の方が校門まで付き添ってくださる姿を目にしました。我が子だけでなく、同じ班の子どもを我が子のように気にかけて、励ましながら一緒に登校して下さっていたのです。また、毎日交代で危険個所に立って下さっている保護者の皆様は、子どもたちに笑顔で手を振りながら挨拶をしてくださっています。それに応えるように、子どもたちも笑顔で手を振り返し、挨拶をしています。その光景から、大人と子どもとの温かなつながりを強く感じました。さらに、こうした保護者の皆様の姿は、日頃から「地域の子どもたちのために」と、登下校を見守って下さっている地域の方々の存在があってこそ生まれているものだと思います。子育ての時期を終えてもなお、地域の子どもたちの安全と成長を見守ってくださるその背中が、今の大人の姿、そして子どもたちの行動へとつながっているのです。本校が掲げる『神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」』『すべては神田の子の「希望をはぐくむために」』という二つの指針は、学校だけで実現できるものではありません。家庭、地域、そして学校がつながり、支え合うことで初めて形になるものだと、改めて実感しています。

学校は、子どもを預けるだけの場所でも、勉強だけを教える場でもありません。日々の生活を通して、多くのことを学び、感じ、成長していく大切な「居場所」です。その居場所を支えて下さっているのは、保護者の皆様、そして地域の皆様にはほかなりません。これからも、学校・家庭・地域の三者が協働し、子どもたちにとって安心できる最高の居場所をつくっていきたいと考えています。

明日からゴールデンウィークに入ります。心も体もゆっくりと休め、リフレッシュして、5月7日に元気な姿で登校してくる子どもたちに会えることを、心から楽しみにしています。